

神の家族のための牧者の祈り

2023年8月20日

エペソ人への手紙 3章14～21節

序：話を1節に戻す（2・11～22の異邦人もキリストにあって一体、神の家族）
エペソの聖徒たちのための2回目の祈り（1・17～19が1回目の祈り）
内住のキリストによって愛に満たされる / 神を知る光が与えられるように
満たされるように

牧師の教会での務め（みことばと祈り）
ローマの獄中から、エペソの聖徒の主の愛の充実をひざまづき祈るパウロ
祈りは時間、空間を超えてささげられる最大・最重要の奉仕（みことばに基いて）

I. だれに祈るのか

父の前に
パテール

家族と呼ばれる者の名の元である方に
パトリリア
父から出た者たち

天上：すでに天に召された聖徒たち
地上：まだ地上にいる聖徒たち
ユダヤ人も異邦人も

神の家族

II. 何を祈るのか

エペソの教会の聖徒たちのための祈願

(1)御父があなたがたを強めてくださいますように

∴落胆 13節

①栄光の豊かさに従って

②御霊によって

内なる人 ①新生した人

に働く

②内住のキリスト（神の満ち満ちたさま）

を通して働く

③力によって

人間から出るのではない

外から、上から与えられる神の全能の力

(2)キリストをあなたがたの心のうちに住まわせてくださるよう

一時的ではなく、永遠に（永住）

移り行くことなく、住み続ける（定住）

(3)キリストの愛を知り、その愛に生きるように

人知をはるかに超えている

広さ（全人類） 長さ（すべての時代）

高さ（如何なる敵も及ばない

深さ（人間には測りがたい）

- ①理解する力を持つようになる
- ②キリストの愛を知る
- ③愛に根ざし（植物）、愛に基礎を置く（建物）
- ④すべての聖徒たちとともに（神の家族の一員）

(4)あなたがたが満たされますように
 神の満ち満ちたさま（＝イエス・キリスト）にまで コロサイ 2・9
 キリストのいのちと愛の豊かさ・高さにまで

Ⅲ. 頌栄

(1)神に栄光がありますように



豊かに施すことのできる方（人間の願いや思いをはるかに超越して）
 行う " 超えたところをさらに超えて

私たち（教会）のうちに内住され、現実目に目にすることができ、常に働き続けて
 おられる神の力に信頼を置く

(2)イエス・キリストにより



教会により = 全地・全世界をおおう教会
 キリスト・イエスにより=二つのものを一つにした救い主

(3)栄光が世々にわたって、とこしえにありますように
 神の栄光は地上の時間の制限を受けない
 変わりなく、永遠である

(4)アーメン

真実 （神の栄光の現れることこそが最終目標）

Ⅳ. 結び

- (1)すべては祈りで始まり、祈りで終わる
- (2)生きる目的、活動の目的は神の栄光が現れること
- (3)祈りによって心の思いや願いは、言動に結びつけられる
- (4)キリストの愛を知性で理解するだけでなく、実践することで具体的に知ることができる
- (5)神はみこころによって、制限なく豊かに施される方である ∴ 願い求めよ
- (6)聖徒の霊的伸びしろは無限 ∴ イエス・キリストがゴール
- (7)祈りの内容は、私たちの側の祈願だけでなく、主をほめたたえる頌栄あるべき
- (8)自分の個人的な祈りだけでなく、他の人たちのためのとりなし、自分の教会だけでなく、他の教会のため、自分の生活している地域だけでなく、それを超えた世界のために祈る 祈り、神の働かれる世界は広大無限
 偉大な神に小さな祈りは適当か？ 大きなことを求めよう